

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（本校）

令和4年4月19日（火）に実施された全国学力・学習状況調査（6年生）の結果の概要をお知らせします。国語・算数・理科の3教科と、学習状況に関する調査が行われました。

1. 教科別学習状況の結果（数値は平均正答率（%）を表しています。）

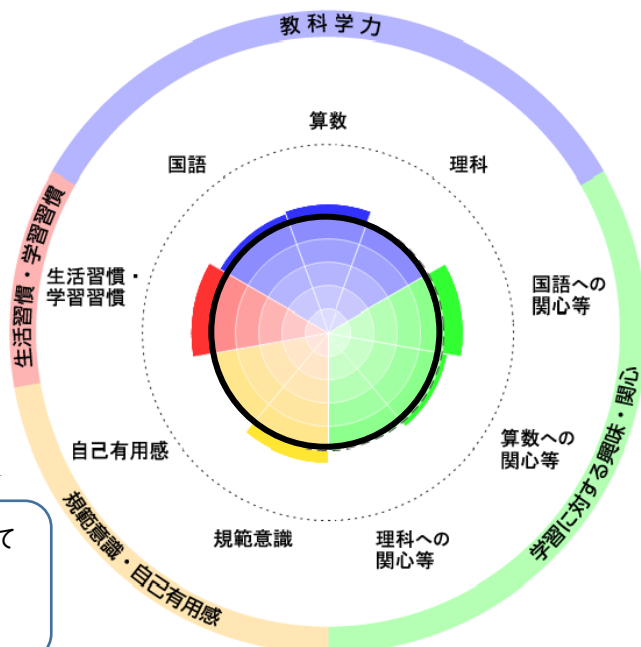
教科	本校	横浜市	神奈川県	全国
国語	68	66	65	65.6
算数	66	66	64	63.2
理科	63	65	63	63.3

○国語と算数の学力は、市や県や全国と比べて平均並みまたは平均をわずかに上回る結果となりました。理科の学力は、市平均より下回りましたが、県や全国と比べると平均並みという結果でした。問題別に見てみると、国語の正答率は選択式・短答式・記述式の問題とも平均を上回りました。算数と理科の正答率は、記述式が平均を下回る結果となりました。国語と算数では、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等の全ての項目が平均を上回りました。一方で、理科については、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等の項目が平均をやや下回りました。正答数分布グラフを分析すると、平均点を上回る児童がやや多く、平均点をやや下回る児童が多いことが分かりました。

2. 学習状況の結果（数値は「該当する」と答えた児童の割合（%）を表しています。）

調査項目	本校	神奈川県	全国
自分にはよいところがあると思う	84.4	79.7	79.3
人が困っているときは、すすんで助けている	90.6	88.9	88.9
学校に行くのは楽しいと思う	89.6	85.3	85.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	100.0	96.6	96.8
家で自分で計画を立てて勉強をしている	79.2	70.7	71.1
読書は好きだ	81.3	71.3	73.1
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	76.0	51.4	51.3
携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている	81.3	73.1	71.5

- 読書が好きだと回答した児童が多くいました。国語の正答率が高かったことにつながる一つの要因と考えます。
- 「地域や社会をよりよくしたい」と地域に高い関心をもつ児童が多くいることが分かりました。総合的な学習の時間を通して、地域と関わることを計画していくとともに、試行錯誤をして粘り強く問題解決していく力を伸ばしていきます。
- 自己有用感を伸ばしていくことができるように、学習や行事の充実、日々の活動の価値付け、所属感を実感できる学校・学年・学級運営をしていきます。



学習に関する関心、規範意識、生活習慣・学習習慣において全国平均を上回っていました。それ以外は全国平均並みでした。（内側の実線が全国平均）